

青少年の問題行動・非行・犯罪・被害の未然防止と子ども・若者に関する相談・支援についてのお知らせです。

高
島
市

少年センター・あすくるだより

高島市新旭町北畑565番地 TEL:0740-25-8556

「大切にしたい言葉のやりとり」

高島市小学校長会 会長 峯森 吉晴

私事で恐縮ですが、私の父は、かつて和菓子屋をしていて、お正月が近づくと、鏡餅や小餅の注文が殺到し、大忙しでした。私も中学生くらいからは、神社やお寺、そして注文をしてくださった家へ配達の手伝いをしました。お寺は玄関まで石段になっているところが多く、鏡餅の数も多いので何回も往復して運びました。しかもそのころは鏡餅を入れる麴蓋が、プラスチック製ではなく木製で大変重く、さらに年末から雪が積もって、配達が手間取ることも多かったように記憶しています。

そんな時、顔見知りの人は必ず「寒いのにご苦労様。」とか「雪の中大変やね。」などと優しい労いの言葉をかけてくださいました。また、知らない家に配達に行く時には、家の場所がわからず配達時刻が予定より遅れ、「遅いな。」と苦情を言われるのではないかと緊張しましたが、配達に行った家の人からは、思いもかけず優しい言葉が返ってきました。子ども心に温かい気持ちになったのを覚えています。

ある時、生徒指導の講演会で、講師の先生から日常の何気ないことを褒める「ボイスシャワー」が大切であるとお聞きしました。「気になる子どもほど、多くの言葉をかけてください。」とも言われました。それを続けたことで、荒れていた学校がだんだんと落ち着いていったという実践例も紹介していただきました。「明日からでもできて、こんな有効な手立てはない。」と力説され、「ただし、そのためには児童や生徒の様子を毎日しっかり見ておく必要がある。」と付け加えられました。そのお話は大変印象的で、「ボイスシャワー」という言葉がずっと私の頭の中に残っていました。

現在コロナ禍でもあり、本校では昨年度から学校の昇降口で児童の健康観察カードを点検するのが毎朝の日課になっています。その時に、あいさつはもちろんですが、もう一言何か添えられるように心がけています。毎日、全校児童とまではいきませんが、児童会で発表をした児童には「昨日の発表わかりやすかったね。」とか、昼休みも運動場を走ってマラソン練習をしていた児童には「昨日は運動場何週走ったの？がんばっているね。」などとその子を見て感じた言葉をかけています。低学年の児童を褒めると本当ににっこりとした顔をします。高学年になると、褒めても表情を変えない児童や逆さまの反応をする児童もいますが、内心はどうでしょうか。大人の私でさえやっぱり、些細なことでも褒められるとうれしいものです。褒められるということは、自分が認められたという安心感につながります。

これは何も子どもだけに限ったことではありません。職場の同僚、保護者、地域の人など誰にでも共通したことです。物事がスムーズに進むかどうかはお互いの信頼関係によるところが大きいと、これまでの経験から感じています。その信頼関係を構築するのは、お互いに顔を合わせて話をするのが基本です。その回数が多いほど関係も深まると思います。コロナ禍で「リモート」がキーワードになっていますが、やはり学校でも地域でも、顔を合わせての「言葉のやりとり」を大切にしていきたいと思っています。



薬物乱用の危険を理解していますか？

今、危険度が増しているのは大麻です！

～高島の子どもたちを薬物乱用から守るために～

『大麻・覚醒剤乱用防止運動パンフレット(一般啓発用)令和2年度』(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/content/11120000/000768914.pdf> を加工して高島市少年センターで作成

「大麻だなんて…」うちの子には関係ないだろうと思いませんか？

ここ数年、大麻による検挙者が急増しており、令和元年には大麻の検挙者数は過去最多の4,570人となり、そのうち半数以上は30歳未満の若者でした。なかでも急増しているのが20歳未満の若者で、令和元年には6年前の10倍以上となる615人が検挙されています。

1. 大麻の加工品や大麻を含んだ食品に気を付けて！

大麻から成分抽出した「大麻リキッド」や「大麻ワックス」など新しいタイプの加工品の摘発も増加しています。また、海外のお土産として売られているチョコレートやクッキー、キャンディなどの中に大麻が含まれていることがあります。誤って口にして体調不良で救急搬送された事例も発生しているので十分に注意しましょう。



2. 大麻は身体への悪影響はない？ →答えは NO 間違いです！

大麻で検挙される若者が急増している原因の一つとしてインターネット等に氾濫している大麻についての間違った知識や情報が影響していることが考えられます。大麻を乱用すると、大麻の花や葉に含まれる成分「THC(テトラヒドロカンナビール)」が脳に作用して下図のような様々な影響があります。

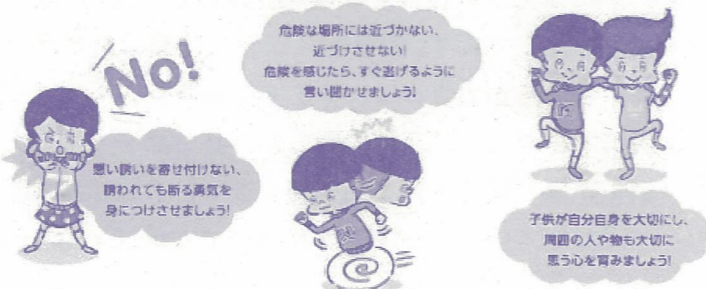
大麻の有害性は特に成長期にある若者の脳に対して影響が大きいことも判明しています。間違った情報に流されず、正しい知識で判断しましょう！

大麻の乱用による影響		大麻の有害性		大麻を長く使い続ける影響	
知覚の変化 時間や空間の感覚がゆがむ	学習能力の低下 短期記憶が妨げられる	運動失調 瞬時の反応が遅れる	精神障害 統合失調症やうつ病を発症しやすくなる	IQ(知能指数)の低下 短期・長期記憶や情報処理速度が下がる	薬物依存 大麻への欲求が抑えられなくなる

3. 「薬物乱用の危険」から子どもたちを守るために大切なこと・心がけること

子どもを薬物乱用の危険から守るためには、身近にいる大人が子どもの日々の様子を注意深く、見守ることが大切です。

子どもが自分自身のことを大切に、悪い誘いを寄せつけず、もし誘われても断る勇気を見につけさせましょう。



「考え方のクセ」

あすくる高島 カウンセラー 日花 滋子

人は「無くて七癖」と言われるように、たくさんの癖を持っています。最近気が付いたことですが、私はよく鼻を触ります。痒くも痛くもないのに、よく触っています。小さい頃は爪を噛んで叱られていました。数えたら七癖より多いと思います。私のこのクセは、恰好よくはありませんが、人に迷惑をかけることもないし、それほど困ることもありません。クセはルーチンワークになることもあるし、心の杖になることもあります。

考え方にも癖があるのにお気づきですか。考え方のクセは「自動的に」頭のなかに浮かびます。頭の中でつぶやいているので、人には見えません。自分も気が付いていないことが多いです。私も「心のクセテスト」をやってみて、はじめて自分の考え方のクセに気が付くことができました。それは自分の性格であり、特徴でもあるのです。

相談を受けていると、相談の背景に、その人の考え方のクセや信念の強さがあるのを感じます。考え方のクセそのものが悪いわけではありません。使い方によって足を引っ張ることもあるし、役に立つこともあります。しかし、考え方のクセというのはあまりに堅固だと苦悩やトラブルにつながるようになります。

あらゆるできごとを正しいか間違っているか、白か黒かのどちらかで考えてしまう子がいました。その子は、テストはいつも100点でなければ意味がないと思っていたのですが、返却された90点の答案を見て、「自分はダメだ」と思い込み、それ以後「どうせ勉強してもダメだ」と先読みして、努力をしなくなったのです。それから、どんどんと自動思考の深みにはまっていき、「めんどくさい」と何もやらなくなったのです。

アンガーマネジメントに取り組んだ人は、人に対して「〇〇すべき」「〇〇でなければならない」という考え方のクセが強すぎました。そのために、家族の言動に手加減せず無理な期待をしてしまい、トラブルになっていました。

誰の言葉か忘れてしまいましたが、「他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えることができる」のです。自分の考え方のクセに気付いて、ほんの少し修正することで、気持ちが楽になります。また、生活の中のつらい出来事や恥ずかしい失敗で頭のなかがいっぱいになったとき、声に出してみると心が軽くなります。前述の二人も、カウンセリングやトレーニングや周りの人からの理解を得て、自分のクセに気づき、今ではポジティブに考えるようになっていきます。

“あすくる高島”では、子ども・若者の相談や支援を行っています。ご家族の相談も受けております。もう悩まない、怒らない、クセに振り回されない自分を探していきましょう。

高島市少年補導委員会 活動紹介

高島市少年補導委員会は、高島警察署長ならびに高島市長から委嘱を受けた45人で構成されています。青少年の健全育成と非行・犯罪被害の未然防止をめざし、高島警察署・高島市少年センター、関係機関と協力して活動を展開しています。その活動の一部を紹介します。

高島の子どもたちを薬物乱用から守るために、出前授業「おでかけ隊」の活動の中で、中学生や高校生に「薬物乱用防止」の啓発を行っています。また、高島市少年センターでは、警察や保健所、病院、児童相談所、学校等の関係機関と連携して、街頭啓発活動や情報交換に取り組んでいます。気になることがあればご相談ください。



高島警察署管内 少年非行のあらまし

令和3年中に高島警察署管内で検挙・補導した少年非行の概要は次のとおりです。
(数値は高島市内で検挙・補導された少年の延べ人数で市外の少年も含まれています。)

【少年の検挙・補導状況(人)】

高島警察署統計資料(令和3年12月末暫定値)より

区分	年別	令和3年	令和2年	前年比
刑法犯少年	犯罪少年	4	2	+ 2
	うち女子	1	2	- 1
	触法少年	0	0	± 0
	うち女子	0	0	± 0
	小計	4	2	+ 2
特別法犯少年	うち女子	1	2	- 1
	特別法犯少年	0	0	± 0
不良行為少年	うち女子	0	0	± 0
	不良行為少年	29	25	+ 4
合計	うち女子	7	5	+ 2
	合計	33	27	+ 6
うち女子	うち女子	8	7	+ 1

《用語の説明》

- 犯罪少年
14歳以上20歳未満の少年で罪を犯した少年。(交通法犯を除く)
- 触法少年
刑事責任のない14歳未満の少年で、刑罰法令に触れる行為をした少年。(交通法犯を除く)
- 不良行為少年
不良行為(罰則の適用はないが、喫煙等少年の健全育成上やめさせるべき行為)をしており、そのまま放置すると非行に進む危険性がある少年。

- ・犯罪少年と触法少年を合わせた刑法犯少年は4人で、前年に比べ増加しているものの、一昨年度は15人であり、ここ数年減少傾向にあります。
- ・検挙・補導人数の増減には新型コロナウイルス感染症の影響が多分にあると思われるので、楽観視できる状況ではありません。

【不良行為少年・学職別補導状況(人)】

高島警察署統計資料(令和3年12月末暫定値)より ()は女子の内数

行為別学職別	喫煙	深夜はいかい	暴走行為	怠学	不良交友	家出	飲酒	粗暴行為	無断外泊	不健全娯楽	総数	前年
小学生						1		1			2 (0)	0 (0)
中学生								1			1 (0)	4 (1)
高校生	1 (1)	3 (2)				5	2 (2)				11 (5)	15 (2)
その他学生	2										2 (0)	0 (0)
有職少年	7 (1)	2				2 (1)	1				12 (2)	5 (2)
無職少年		1									1 (0)	1 (0)
総数	10 (2)	6 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (1)	3 (2)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	29 (7)	25 (5)
前年	9 (2)	7 (1)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	25 (5)	

- ・ここ数年、総数が減少傾向にある中、有職少年の喫煙による補導が増加し、学職別でも最も多くなっています。
- ・行為別では、コロナ禍における家庭内でのトラブル等から家出の割合が高くなってきています。

子ども・若者支援センター “あすくる高島”

〒520-1592

高島市新旭町北畑565番地

TEL: 0740-25-8556

FAX: 0740-25-8071

相談専用 TEL: 0740-25-8555

相談時間 9:00~17:00(月曜日~金曜日)

★土日や時間外の相談を希望される方は、事前にご連絡ください。

